キャリアデザイン部通信

大湊高等学校の3学期の活動をまとめました

第三号　令和六年三月
青森県立大湊高等学校
キャリアデザイン部

ジオ弁当

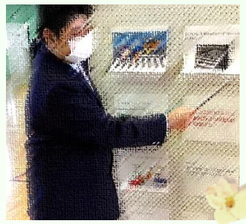
一月二六日(金)にジオ弁当発表会が本校会議室で実施されました。むつ市の「夢実現プログラム」の取組で、三年次健康福祉系列家庭コースの生徒が考案したレシピを基に「すたみな厨房町Ｂｅｎ」さんに「ジオ弁当」を、「やまざき製菓」さんに「地層ようかん」を商品化していただきました。

／LOOK／

令和6年8月30日（金）～9月1日（日）開催予定
第14回日本ジオパーク全国大会IN下北
で販売されます！

産業社会と人間年次発表会

一月二四日（水）、一年次の「産業社会と人間」の一年間の成果をポスターセッション形式で披露する発表会を行いました。これまで、一人ひとりが下北地域での困りごとや解決すべき課題を発見し、地域企業へのインタビューや文献調査等を実施してきました。この発表会では、生徒が活動成果を基に課題解決に向けての今後の展望をプレゼンしました。生徒や教員だけではなく、これまで講演やワークショップ等でお世話になった外部の方もお招きしての開催となり、聴衆からの質問に一生懸命答える様子が見られました。



青森中央学院大学との高大連携事業
看護の授業体験

二月一六日（金）に、看護師を目指す生徒を対象に大学の看護の講義の体験・看護学部生との交流が行われました。脳卒中の方の事例を生活習慣病に注目して検討する時間では、参加した生徒は大学生と共に様々な意見を交わしていました。

第四回プロフェッショナル デザイナーに関する仕事

二月二二日（木）、フリーランスで活躍している小形千紘さんを講師に招き、面白さややりがいを語っていただきました。プロフェッショナルも四回目にもなると参加する生徒が多くなり、五四名もの参加となりました。

あおもり創造学成果発表会・総合研究発表会

二月七日（水）、あおもり創造学成果発表会と総合研究発表会が開催されました。一年次の代表生徒は教員の残業時間を減らすためにできることについて課題研究を行い、他校の生徒の前で発表を行いました。

また、大湊高校は昨年一二月の総合学科研究発表大会で、最優秀賞を獲得し、総合研究発表会に招待されました。研究発表会は工業高校などの実業高校の研究発表や総合的な探究の時間で高い評価を受けた代表による発表で、どの発表も深い研究内容が特徴的でした。本校の『「防災」私たちが作る、災害に強い人と社会・～防災意識を変える・大湊高校の研究と実践～』は、特に高い評価を受けました。講評をいただいた弘前大学大学院教育学研究科教授：三戸延聖先生からは、「下北四校で取り組む素晴らしさ」「災害弱者の視点を取り入れた現実的な課題への取り組み」「原子力災害という、青森県が抱える問題へのアプローチ」そして、なによりも発表スキルの高さを評価していただきました。防災の研究は後輩にも受け継がれており、来年度の研究発表にも期待が持たれます。

下北BOUSAIネットワークの活動

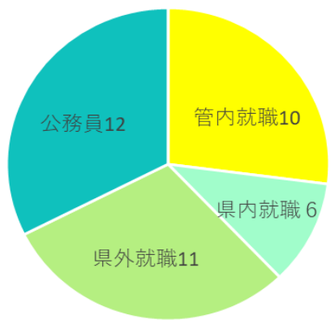
募金活動

一月二〇日（土）・二一（日）の二日間、マエダ本店とユニバースむつ旭町店で、能登半島地震救援募金が行われました。大湊高校から五六名、田名部高校からは二〇名、むつ養護学校からは三名の生徒が参加し雪が激しく降る中むつ市民の皆さんに協力をお願いしました。募金していただいた中には、わざわざ車までお金を取りに行って募金してくれたり、「お年玉からです」と言って、一万円を募金してくれる高校生など本当に多くの方に協力していただきました。二日間で八〇万二千円もの募金が集まりました。募金は日本赤十字社を通じ被災地の支援に使われます。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

旧大川小学校研修

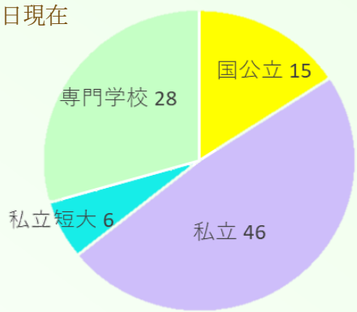
二月二三日（金）・二四日（土）の二日間、三二名のメンバーが、宮城県石巻市で防災の研修を行いました。大湊高校からは二二名が参加しました。初日は防災研修施設KIBOTCHAで、避難所運営の課題について、齊藤幸男先生を講師にお招きしてワークショップに取り組みました。夜には一六歳の時から語り部活動に取り組んでいる雁部那由多さんをお招きしました。ほんのわずかなことが生死を分けた現実を伺い、災害の恐ろしさを感じました。二日目には生徒一〇七名中七四名が犠牲となった旧大川小学校を訪れました。お子様が犠牲となった紫藤隆洋さんから、学校の対応が子供たちの命を左右したお話を伺い、日ごろからの訓練と同時に、その時々の冷静な判断が重要だということを学びました。研修の学びは今後の活動につなげていきたいと考えています。

進路達成状況　3月13日現在



主な就職先

日本郵便株式会社東北支社、ケーキ屋タックンむつ店、社会福祉法人桜木会、社会福祉法人青森社会福祉振興団（みちのく荘）②、株式会社熊谷建設工業②、トヨタカローラ八戸株式会社、日本テクサ株式会社青森事業所、株式会社マエダ、株式会社一心亭、青森県職員［教育事務］、青森県警察官B、宮城県警察官B、下北地域広域行政事務組合消防職員、むつ市職員［初級行政］一般曹候補生［海上］⑤、一般曹候補生［航空］、自衛官候補生［海上］



○の中の数字は人数を表しています

主な進学先

札幌市立大学（デザイン学部）、釧路公立大学（経済学部）、公立はこだて未来大学（システム情報科学部）②、青森県立保健大学（健康科学部）、青森公立大学（経営経済学部④、弘前大学（理工学部）④、福島大学（人文社会学群）、筑波大学（医学群）、青森大学（社会学部・総合経営学部・ソフトウェア情報学部）⑤、青森大学むつキャンパス（社会学部・総合経営学部・ソフトウェア情報学部）⑤、仙台大学（体育学部）④、青森中央学院大学（経営法学部・看護学部）③、弘前医療福祉大学（保健学部）、弘前学院大学（文学部・社会福祉学部）③、八戸学院大学（健康医療学部）③